

CO₂ ネットゼロに向けた県庁率先行動計画(CO₂ ネットゼロ・オフィス滋賀) 令和6年度取組結果概要

滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくり推進計画(以下「推進計画」という。)では、滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例(令和4年滋賀県条例第7号。以下「条例」という。)第9条に基づき、温室効果ガス排出量の実績値および実施した取組の実施状況を取りまとめて公表することとしています。

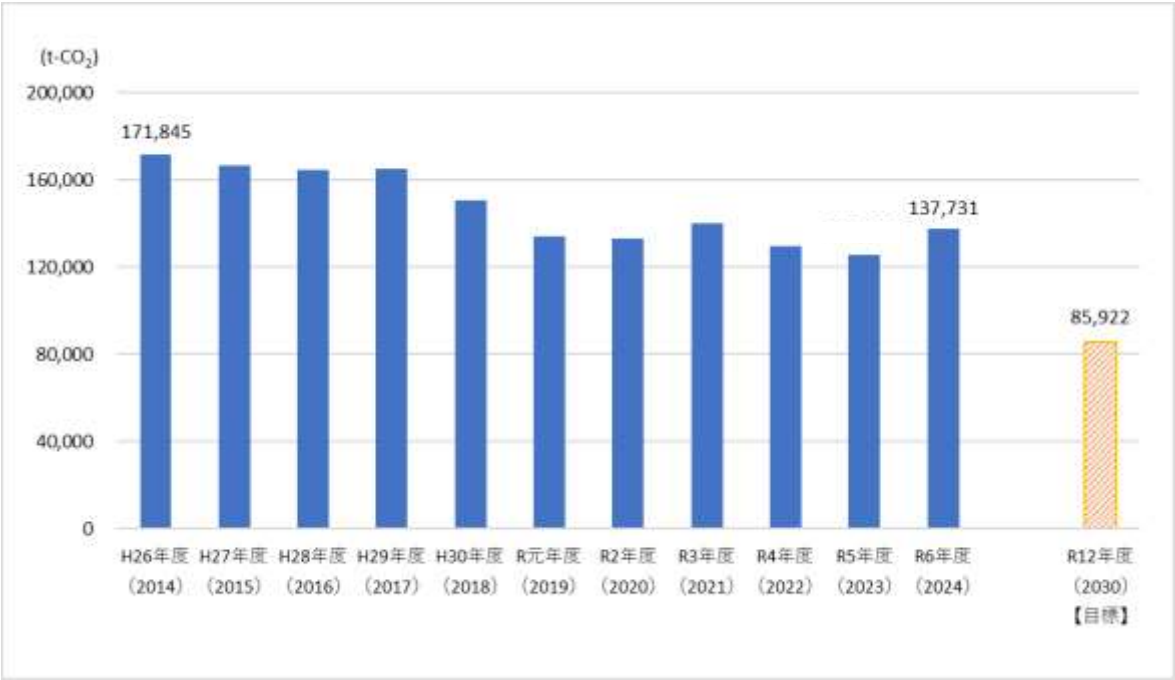
令和6年度(2024年度)の県機関における温室効果ガス排出量の実績値や取組状況の概要は、次のとおりです。

目標:温室効果ガス排出量を 2030 年度に 2014 年度比で 50%減

1 温室効果ガス排出量

項目	年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	対前年度比 (%)	H26(2014) 比(%)
温室効果ガス排出量 t-CO ₂		171,845	166,560	164,738	165,197	150,553	134,060	133,444	140,143	129,552	125,837	137,731	9.5	▲ 19.9
二酸化炭素		138,281	134,247	133,714	133,181	118,441	101,240	100,514	106,940	97,403	101,652	113,948	12.1	▲ 17.6
メタン		3,457	3,522	4,072	4,051	4,113	4,196	4,644	4,396	4,207	5,394	4,989	▲ 7.5	44.3
一酸化二窒素		30,086	28,769	26,930	27,942	27,976	28,601	28,263	28,785	27,917	18,770	18,773	0.0	▲ 37.6
ハイドロフルオロカーボン		21	23	23	23	23	23	23	23	24	21	21	▲ 0.2	▲ 1.0

※1 電気の排出係数は、H26:0.521、H27:0.529、H28:0.503、H29:0.505、H30:0.435、R1:0.356、R2:0.357、R3:0.382、R4:0.343、R5:0.364、R6:0.415(kg-CO₂/kWh)と変動
※2 平成26年度の一酸化二窒素には六フッ化硫黄 10t-CO₂分を含む



○温室効果ガスの排出量は、137,731t-CO₂、基準年度比で19.9%減、前年度比で9.5%増となりました。国が電気の排出係数の算定方法を変更したことにより、前年度と比べ、電気の排出係数が14%増となったことが主な原因です。

2 エネルギー使用量等

(1) エネルギー使用量

項目 \ 年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
エネルギー使用量 GJ	2,570,879	2,472,164	2,561,354	2,537,381	2,532,122

項目 \ 年度	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	対前年度比 (%)	H26 (2014) 比(%)
エネルギー使用量 GJ	2,514,581	2,494,841	2,540,583	2,500,496	2,288,844	2,323,884	1.5	▲ 9.6

○エネルギー使用量は 2,323,884GJ、基準年度比で 9.6%減、前年度比で1.5%増となりました。令和 5 年度は省エネ法改正に伴う電気の一次エネルギー換算係数の変更により、大幅に減少しましたが、令和 6 年度は、上下水道施設の稼働状況などにより、増加に転じました。

(2) 燃料使用量

項目 \ 年度		H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
電気	kWh	202,151,470	200,205,805	205,683,854	207,128,227	207,582,481
都市ガス	m³	8,887,310	8,205,157	8,882,674	7,996,298	7,944,787
液化石油ガス	t	405	336	383	382	346
灯油	L	1,783,053	680,322	887,145	909,293	791,303
A重油	L	818,326	766,874	807,105	833,774	806,322
ガソリン	L	1,660,142	1,590,554	1,520,450	1,528,228	1,493,744
軽油	L	402,140	394,203	395,211	466,964	510,518
ジェット燃料	L	166,015	168,296	136,169	124,280	164,275

項目 \ 年度		R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	対前年度比 (%)	H26 (2014) 比(%)
電気	kWh	207,124,714	209,853,007	210,551,865	206,840,758	206,298,690	210,776,036	2.2	4.3
都市ガス	m³	7,853,577	7,190,663	7,596,434	7,574,735	7,752,086	8,335,669	7.5	▲ 6.2
液化石油ガス	t	361	388	399	382	383	390	1.9	▲ 3.6
灯油	L	689,242	717,628	751,080	693,525	645,968	657,726	1.8	▲ 63.1
A重油	L	791,121	760,183	739,965	751,284	755,073	773,811	2.5	▲ 5.4
ガソリン	L	1,443,287	1,372,099	1,372,354	1,363,725	1,279,162	1,232,704	▲ 3.6	▲ 25.7
軽油	L	505,472	370,580	381,061	383,125	493,479	504,162	2.2	25.4
ジェット燃料	L	138,717	148,954	154,183	154,111	178,140	162,424	▲ 8.8	▲ 2.2

○前年度に対し、ガソリンとジェット燃料以外の全ての項目で、増加に転じました。厳冬・猛暑の長期化により空調の稼働時間が増加したことや、下水道施設の放流量増加、湖南省から企業庁への受水場 2 施設の移管などが要因と考えられます。

(3) 公用車等燃料使用量

項目 \ 年度		H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	対前年度比 (%)	H26 (2014) 比(%)
公用車等燃料使用量	KL	2,002	1,929	1,857	1,962	1,952	1,898	1,692	1,713	1,706	1,731	1,693	▲ 2.2	▲ 15.4
ガソリン		1,642	1,572	1,503	1,515	1,476	1,425	1,354	1,357	1,348	1,260	1,215	▲ 3.5	▲ 26.0
軽油		359	357	354	447	476	472	337	356	358	470	478	1.7	33.1

○次世代自動車(ハイブリッド車や電気自動車等)の導入や、公共交通機関の利用促進、エコドライブの推進により、ガソリン使用量は経年的に減少しています。一方、学校や文化施設のバス送迎の増加などにより、軽油使用量は前年度に対して 1.7%増となりました。

(4) 用紙購入量

項目 \ 年度		H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	対前年度比 (%)	H26 (2014) 比(%)
用紙購入量	千枚	149,082	150,917	149,515	144,818	146,166	140,355	143,922	137,656	132,604	120,369	118,210	▲ 1.8	▲ 20.7
PPC用紙購入枚数		145,173	148,365	147,862	142,927	145,614	140,020	143,629	137,578	132,587	120,353	118,172	▲ 1.8	▲ 18.6
更紙購入枚数		3,909	2,552	1,653	1,891	552	335	293	77	17	16	38	143.3	▲ 99.0

○電子決裁や会議のペーパーレス化、ICT 機器の活用などが進んだことにより、前年度に対して 1.8%減となりました。